

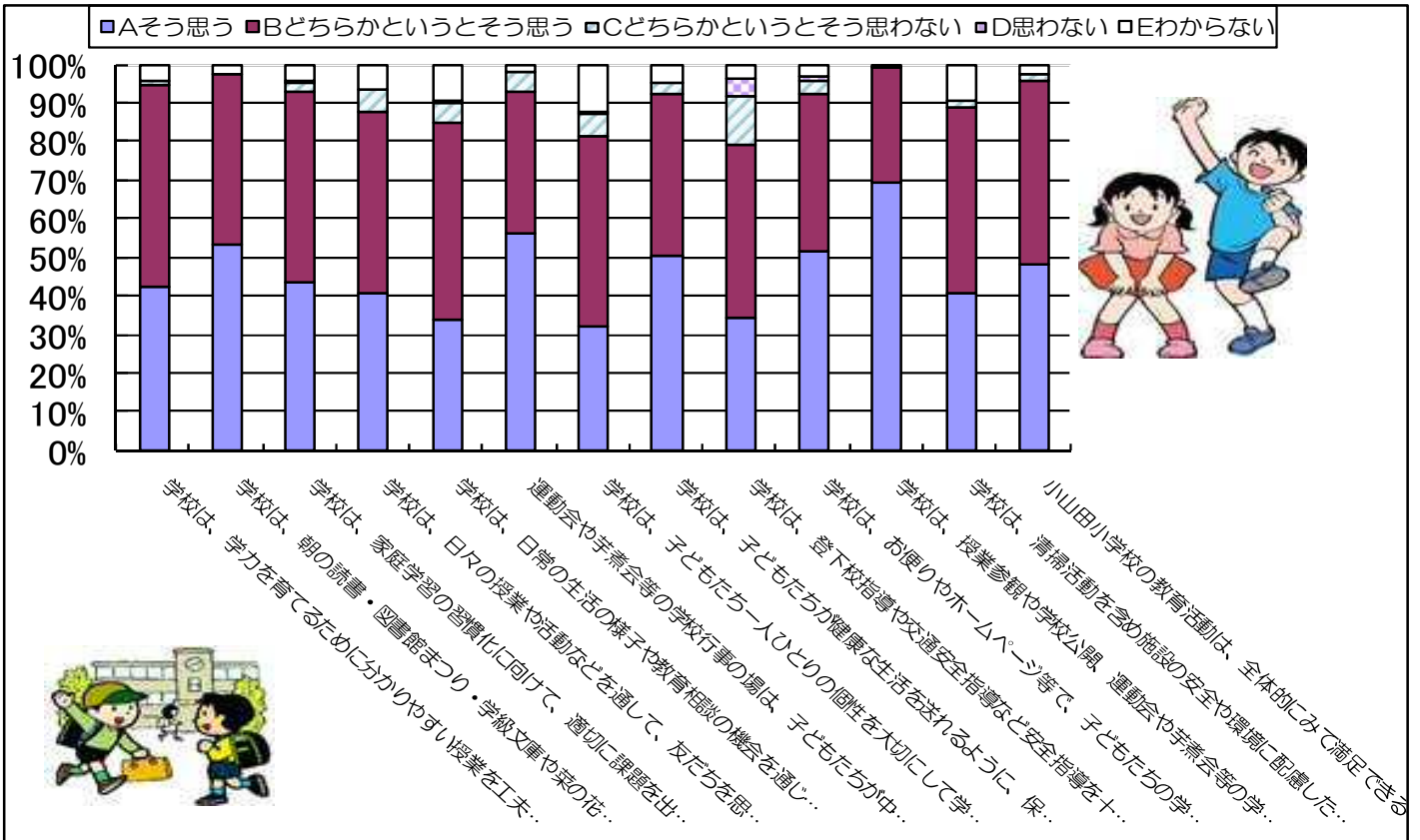


# 学校だより

平成29年2月23日  
四日市市立小山田小学校

今年度も残すところわずかな日数となってきました。保護者の皆さまと4～6年生の児童を対象に実施しました教育活動に関するアンケートの結果と考察を公表します。これらの結果や皆さまからの貴重なご意見をもとに、この1年間の成果と課題を振り返り、今後の教育活動に活かしていきます。ご協力ありがとうございました。

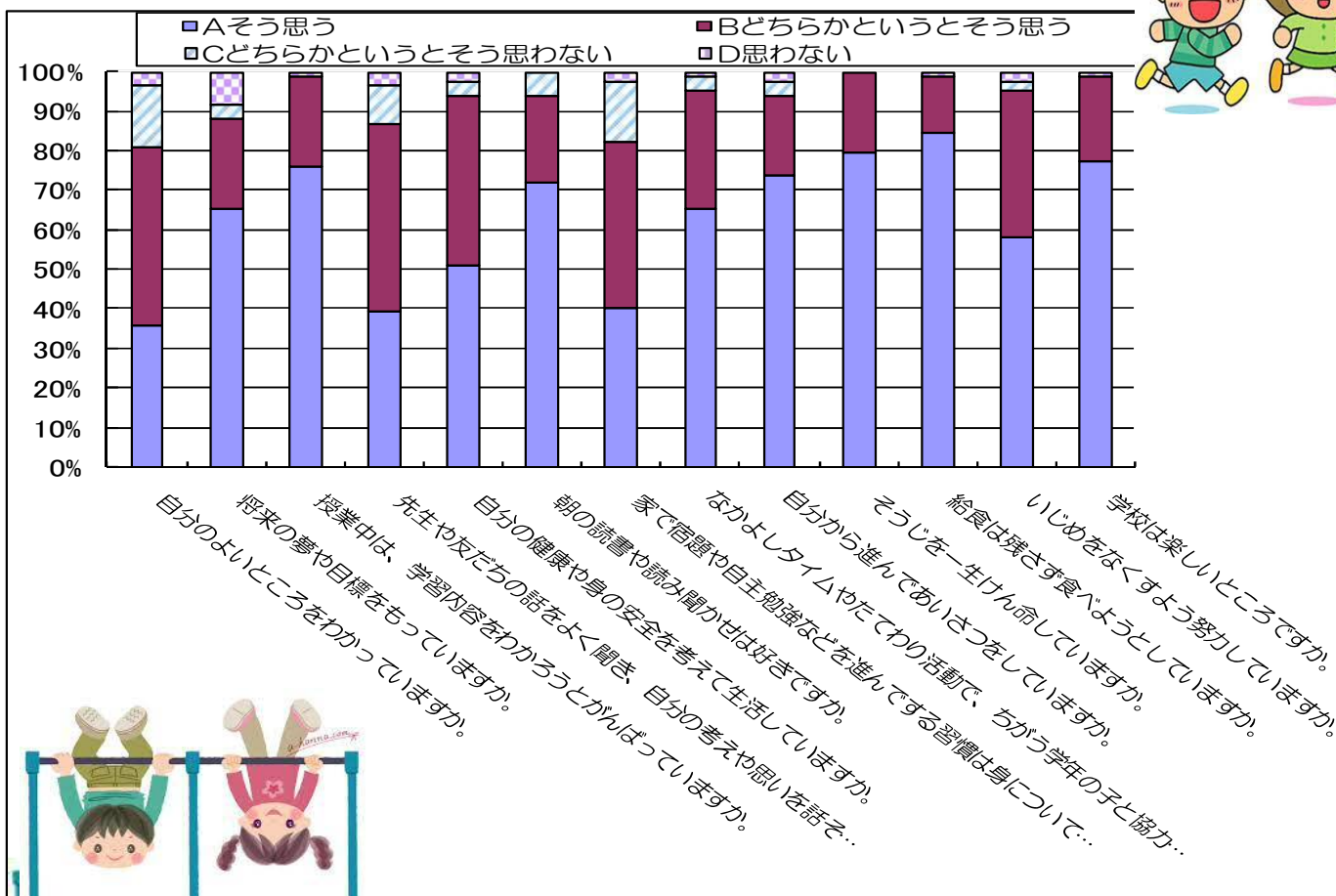
## 平成28年度 保護者アンケートの結果より



### 考察 【保護者アンケート】

- 本校の教育活動全般について、昨年度より4ポイント増の95.8%の方から「全体的に満足できる」と肯定的な評価をいただきました。「子どもたちに丁寧にいろいろな事を伝えたり、育てていると感ずることができ」「担任からの『何かあればいつでもご相談ください』との声掛けに安心できる」「校長や教頭が子どもたちのためにいつも動いていて安心できる」などの声をいただき、たいへん心強く感じます。
- 「わかりやすい授業を工夫していると思うか」には、昨年度より4ポイント以上増の94.6%の方から、家庭学習については昨年度並みの92.9%の方から肯定的評価をいただいています。今後もさらに、職員一人ひとりが研修に励み、興味が持てるわかりやすい授業づくりや指導に努めるとともに、保護者の皆さまと連携しながら、学力向上や健康づくりの歩みを進めていきたいと考えます。
- 「本に親しむ子を育てているか」については、昨年度より5ポイント増の97.6%の方が肯定的に感じてみえます。学校では、「あさかぜタイム」で朝の読書の習慣化、なの花文庫（市立図書館との連携）、学校図書館司書によるブックトークや読書支援、委員会を中心とした図書館まつり等の取り組みを行っています。これらに加え、読書支援員の皆さんによる絵本や紙芝居の読み聞かせも、本と出会う貴重な機会になっています。
- 「友だちを思いやり豊かな心を持った子を育てようとしているか」「子どもたちの思いをつかもうとしているか」については、それぞれ1.6ポイント、2.2ポイント増となっていますが、学習面に比べ、肯定的な評価が87.5%、85%でした。「運動会や芋煮会などの行事が子どもたち中心の活動になっているか」については、肯定的な評価が92.8%あったものの、昨年度比で2ポイント下がっています。学習面だけでなく、子どもたちが思いをもって自分らしく活躍できる学校であるよう、また子どもたちが生きる力、つながる力をさらに身につけられるよう努めたいと考えます。
- 「登下校指導や交通安全指導などの安全指導」については、前年比5.8ポイントの低下で、全体としても79.2%の肯定的評価でした。意見欄にも、登下校時のトラブル等について事例をお示しいただいたり、不審者対策・情報提供等についてさらに充実してほしいという声をいただいたりしました。子どもたちの安全安心のため、地域やPTAとも連携をさらに深めていきたいと考えています。

# 児童アンケート（4～6年生）の結果より



- 「学校は楽しいところか」の問いには、4年生以上の98.8%が肯定的です。昨年度より4ポイント上昇、ほとんどの児童が楽しく学校に通っているのはうれしいことです。全員が楽しいと感じることができるよう、一人一人の思いに寄り添った取り組みを進めていきたいと感じます。
- 学習に関しては、98.8%が「授業中、学習内容をわかろうとがんばっている」と回答しています。これも昨年度より5ポイント以上の上昇です。「先生や友だちの話をよく聞き、考えや思いを話そうとしているか」に肯定的な回答をしたのは86.9%であり、これも昨年度より5ポイント上がっているものの、がんばろうという意識と学習の取り組み方との間にずれを感じます。学習に主体的に参加するためにも、また内容をよく理解するためにも、話を聞く力や、自分から意見を発表したり、わからないことを質問したりする力を付けたいと考えます。「家で宿題や自主勉強などを進んでする習慣が身についているか」に肯定的なのは82.1%で、昨年度並みにとどまっています。こつこつと家庭学習に取り組むことは基礎学力の定着に有効です。引き続きご家庭でも声かけと励ましをお願いします。
- 健康・安全面について、「給食は残さず食べようとしているか」の問いには約1ポイント減ですが98.8%が肯定しました。また「自分の健康や身の安全を考えて生活しているか」は、肯定が94%で、昨年度の81.1%よりも大幅に上がっています。健康や安全に意識が向くようになったと評価できますが、同時に健康や安全に不安を感じている点がないかにも注視していく必要があると考えます。「自分から進んであいさつをする」は94%と4ポイント強の上昇ですが、友だちや地域とつながる大切な力でもあるため、さらに取り組みを進めたいと思います。元気のよいあいさつができるためにも、心身の健康をより一層大切にしたいと考えます。
- 「なかよしタイムなどの活動で、ちがう学年の子と協力できたか」には95.2%が肯定しています。行事だけでなく、登下校やクラブ活動、掃除の時間など様々な場面で低学年に優しく接する高学年の姿が見られます。特に「掃除を一生けんめいしている」は100%が肯定的に回答しており、協力して真面目に取り組もうとする本校児童のよさが表れています。
- 「将来の夢や目標をもっているか」については、88.1%の児童が肯定していますが、昨年度より8ポイント強も低下しています。また「自分のよいところがわかっているか」では、81%と昨年度よりやや低い割合となっています。児童が自分の良さや得意なことを自覚し、自己肯定感を高めることができるような取り組みを充実させ、適切な評価や励ましにより、目的意識をもって主体的に学校生活を送ることができるようにしていきたいと考えます。
- 「いじめをなくすよう努力しているか」については、95.2%が肯定しており、昨年度より7ポイント上昇しました。今後も教育相談などで実態把握に努めるとともに、隣に困っている人がいたら、知らんぷりをせず、正しいと思うことを行動できる仲間づくりの取り組みや、道徳・人権教育のさらなる充実を図っていききたいと考えます。

